

アイリス Letter

保護者の皆様へ

2020年3月3日発行

第10号

広島女学院中学高等学校



聖書のことば

イエスが舟に乗り込まれると、弟子たちも従った。そのとき、湖に激しい嵐が起こり、船は波にのまれそうになった。イエスは眠っておられた。弟子たちは近寄って起こし、「主よ、助けてください。おぼれそうです」と言った。イエスは言われた。「なぜ怖がるのか。信仰の薄い者たちよ。」そして、起き上がって風と湖とをお叱りになると、すっかり凪になった。

マタイによる福音書 8章23節～26節

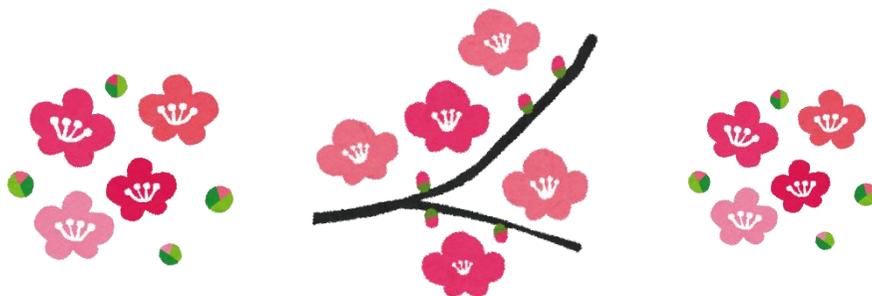
2月が過ぎ、3月となりました。本来ならば、2月は一番寒い月ですが、雪が降ったのも一日だけで、経験したことのない暖かい月となりました。

3学期は高3生のいない、少し寂しい学校です。しかし、2月10日には、中学ではオラトリカルコンテストがありました。出場者の発表は、その場にいることがうれしくなるような、心に届くものでした。高1・2は、球技大会が行われ、大きな歓声が響いていました。クラスのつながりがより深くなったことでしょう。高3生は大学入試に挑み、実力をしっかり発揮していると思います。また、来年度の新入生のオリエンテーションも行われました。皆さんがこれらのことに大切に取り組むことで、その一つひとつが前に進むものになっていることに感謝しています。

さて、新型コロナウイルスの感染拡大により、今まで経験したことのない不安の中にあります。今月の聖句は、不安や恐れの中にあつたときのお話です。まさに、自然の力に対して、人間の力の小ささを見る現実の前に、「助けてください」としか言えなくなってしまいます。しかし、イエス・キリストは「怖がるな、恐れるな」と言われます。今、私は何を怖がり、何を恐れているのかをしっかりと考えてみたいと思いますが、冷静に平安のうちに考えるということをしていこうと思います。

お一人おひとりの健康を、心よりお祈りいたします。お互い、気をつけるべきことにしっかり留意し、混乱の中でこそ、イエス様の真の平安を知り、歩んでまいりましょう。

(校長)



中学入試について

1月20日(月)中学校入試が行われました。今年もインフルエンザの流行や受験生の体調、天候など心配しましたが、多くの女子児童が本校を受験し、無事に終えることができました。

前日準備では中3・高2の生徒が試験会場の準備をしてくれ、気持ちの良い環境で受験生を迎え入れてくれました。また、試験当日、朝早くから受験生が安心して試験に臨めるよう心を込め働いてくれた補助生徒の皆さん、本当にありがとうございました。感謝です。

合格発表の後、2月1日(土)第1回新入生オリエンテーションで制靴やカバン等の購入、15日(土)の第2回オリエンテーションで入学礼拝の練習を終え、新入生はいよいよ4月7日の入学の日を待つばかりとなりました。希望と不安を抱えながら待ちに待った本校への入学を迎えます。在校生のみなさん、新しい女学院生を笑顔で歓迎しましょう。

(中学教頭)

ミャンマー研修

1月18日から24日まで、中3の9名と高1の3名の計12名でミャンマーを訪問しました。事前学習の段階ではなかなかミャンマーについてイメージを膨らませることが難しかったのですが、実際に足を運び目で見て体験したミャンマーを好きになって帰ってきました。言葉も習慣も違うホストファミリーと心を通わせた貴重な時間、訪問した学校で目を輝かせて自分たちを慕ってきてくれた子どもたちとの触れ合いの時間は、普段教室では体験することのできない学び

を与えてくれました。ミャンマーの地で貢献しておられる日本人の方々姿を見させていただいたことも、大きな励みとなっています。また、自分たちが受けるだけでなく、広島や女学院のことを伝え共に分かち合う時間が与えられたことも貴重な機会となりました。訪問した一人ひとりが、ミャンマーと日本のつながりを少しでも深める役割を意識するきっかけとなりました。



このような体験ができたのも、今回訪問を快く受け入れ協力して下さった方々がいてくださるからです。そのことに感謝しつつ、今回の研修で感じたことや学んだことを周りに伝え、今後に活かしていけることを願っています。

(GEC ミャンマー研修担当)

International School of Myanmar (ISM) 来校

2月9日(日)～12日(水)の日程で、International School of Myanmar (ISM)の旅行団が来校されました。ISMは、本校訪問は今年で4回目、本校のミャンマー研修でも毎年お世話になっている学校です。今回は12名の生徒の皆さんと引率の先生お2人が来てくださいました。

例年より滞在日数が短く、女学院で一緒に過ごすことが出来たのはたった1日でしたが、授業参観や書道作品の制作体験をしたり、放課後に交流会を行い、女学院での生活を満喫さ

れたようでした。

また、12名全員が本校生徒宅にホームステイをし、日本での生活を体験されました。11



日はホストファミリーやミャンマー研修参加者たちとともに、碑めぐりや宮島観光を楽しまれました。

初日はみなさん緊張した表情でしたが、最終日にはホストファミリーとすっかり打ちとけ、別れを惜しんでおられました。ホストファミリーのみなさん、ご協力いただきました生徒のみなさん、先生方、ありがとうございました。

(GEC)

2020年度中学生徒会役員 選挙結果

五人委員は、次の人たちが承認されました。

2年1組 H・S

1年1組 M・M

2年3組 S・N

1年1組 M・R

2年4組 Y・S

承認された生徒には、女学院中学校生徒会の伝統を守りつつも、さらに発展し続ける生徒会であるよう持てる力を十分に発揮していってくれることを期待します。

(中学選挙管理委員会顧問)

高校生徒会執行委員 選挙結果

2月に行われた選挙によって、来年度新高1の生徒会執行委員は以下の5名に決まりました。先輩方と力を合わせ、来年度も生徒会行事を運営していきたいと思えます。

どうぞよろしくお願いします。

3年1組 M・K

3年3組 Y・K

3年2組 N・M

3年4組 I・R

3年2組 W・A

(高校生徒会顧問)

中学英語オラトリカルコンテスト

2月10日(月)に第44回オラトリカルコンテストが行われました。中1、2は暗唱を、中3とインターナショナル部門の生徒はそれぞれのテーマでスピーチを発表しました。家での練習はもちろんのこと、休憩時間も練習に励み、皆レベルの高い発表を披露してくれました。進行役の中3の生徒たちも、コンテストを円滑に進め、コンテストを盛り上げてくれました。出場者の皆さん、



お疲れ様でした。

受賞者は以下の通りです。

中1 1位 J・S (1-4)
2位 S・M (1-4)
3位 F・M (1-3)
敢闘賞 K・K (1-5)

中3 1位 S・M (3-1)
2位 S・M (3-2)
3位 T・S (3-4)

中2 1位 K・M (2-5)
2位 M・R (2-2)
3位 N・N (2-2)
敢闘賞 E・H (2-3)

インターナショナル部門
1位 N・K (3-3)
敢闘賞 Y・E (2-3)

(英語科)

フェリス女学院碑巡り案内

2月6日(木) 横浜にあるフェリス女学院中学校・高等学校の高校1年生に本校生徒が「碑めぐり案内」をしました。フェリス女学院のみなさんは、毎年2月始めに平和学習のため広島を訪れます。学習の一環として、広島女学院の生徒たちがフェリス生たちに平和公園を案内し、そこに点在する碑を説明し、原爆の惨禍を知ってもらっています。当日は非常に寒い一日でしたが、フェリス生たちは非常に明るく活発で、碑をめぐる途中でも本校生徒と様々な意見交換ができたようです。碑めぐりをした後、国際会議場の一画で、ささやかですが両校の交流会を持ちました。フェリス女学院も本校と同じくキリスト教の学校で、交流会は礼拝を持って始まりました。その後、フェリス生の意見発表、本校生徒の学校紹介のプレゼンがあり、各グループで意見交換の場を設けました。本校生徒が学校紹介の最後で投げかけた平和に関する問いについて、両校生徒が活発な議論を交わしていました。協力してくれた生徒の皆さん、お疲れさまでした。

(GEC)

じょがく in LOVE

2月8日(土) 冬のオープンスクール「じょがく in LOVE」が開催され、非常に好評でした。このイベントでは保護者も合わせて400名近くの小学5年生が本校の学校生活の一部を疑似体験するものです。その運営に100名を超える中学生と高校生が力を貸してくれました。まず、生徒たちが主になって当日の寒い朝、緊張した面持ちの小学生を受付や案内で出迎えてくれました。また、「お姉さん」役としてHR活動で小学生たちの緊張をほぐし、場を盛り上げ、楽しませていました。放送礼拝においても生徒たちが奏楽と感話を担い、小学生の保護者たちの関心をも集めていました。ホールプログラムでも司会や吹奏楽部の演奏、英語のスピーチなど女学院生の力が発揮されていました。小学5年生に配ったお土産のメッセージカードも女学院に来て欲しいという思いを伝えるよい機会となりました。その甲斐もあり、アンケートでは参加者の満足度は極めて高かったです。それだけでなく、生徒たちが「明るく」、「優しく」、「主体的」であり、「柔軟な対応ができる」、「笑顔が素敵で」、「親しみやすく」、「目が行き届いており」、「話しが上手で」、「充実した学校生活を送っていて」、「学校が大好きなことが伝わってくる」、「しっかりとした芯を持っている」などの声が絶えませんでした。

そんな生徒たちの姿を見て、「この学校にぜひ入りたかった」、「娘の瞳がキラキラしてきた」、「娘にやる気スイッチが入った」、「ぜひ入学できるようにがんばろうと思った」など広島女学院中学・高等学校の魅力を感じてもらうことができました。ご協力いただいた皆様にご場を借りて感謝申し上げます。

(広報部)

保健室だより (10)

新型コロナウイルス感染症が、連日テレビ等で取り上げられています。保健室でも生徒たちからコロナになったらどうしようという声をよく聞きます。新型コロナウイルス感染症の予防に関しても、風邪や季節性インフルエンザ対策と同様に、一人一人の咳エチケットや手洗いなどの実施が、とても重要であるとのこと。学校ではインフルエンザに罹っている人もいますので、日頃の体調管理や手洗いなどしっかりできているか見直して、感染症対策に努めていきましょう。なお、インフルエンザに関しては、従来の治癒証明書ではなく罹患証明書となりましたので、さくら連絡網やホームページでご確認ください。

(保健室)

心の健康 (10)

耐えがたいストレスは、心を不健康な状態にしますが、ほどよいストレスは、創造や成長になくしてはならないものです。普段、心は無意識のうちにストレスに対処していることが多いのですが、時にはどうにもならないこともあります。日頃から心の健康を保つための意識的な対処方法を実践しておくことも大切なことです。その幾つかをあげてみましょう。

- ・睡眠・食事を規則的にする。
- ・うちとけて話し合える友人関係をつくっていく。
- ・小さな目標からスタートして、大きな自信へと。
- ・美しいものにふれる。
- ・自分の本音を大切に。などなど。

もし、心の不健康を感じたら、援助を求めましょう。あなたの周りには助けてくれる人もいます。



(カウンセラー)

教職員の動向

○聖書科の矢野先生のご尊父様が2月17日にご逝去されました。

ご家族の上に神様の慰めがございますようお願いいたします。

○2月21日に数学科の増原先生に男児が誕生されました。おめでとうございます。

ご成長の上に神様の豊かな祝福をお祈りします。



生徒の活躍

《高校》

◇個人の活躍

*第75回国民体育大会 冬季大会
スケート競技会 ショートトラック競技

T・H (1-E)

少年女子 1000m 第4位

少年女子 500m 第4位

《中高》

◇中高吹奏楽部

*第43回全日本アンサンブルコンテスト中国大会
中学校の部: 打楽器四重奏 銀賞

H・M (3-1)

T・S (3-3)

K・M (2-2)

E・Y (2-5)



今月の聖句

人々はイエスを捕らえ、引いて行き、大祭司の家に連れて入った。……するとある女中が、ペトロがたき火に照らされて座しているのを目にして、じっと見つめ、「この人も一緒にいました」と言った。しかし、ペトロはそれを打ち消して、「わたしはあの人を知らない」と言った。……主は振り向いてペトロを見つめられた。

(ルカによる福音書 22章54節～61節抜粋)

ペトロがイエスを「知らない」と言ったのは、自分まで捕まりたくないから、自分に害が及ばないように、イエスとの関係を切ったのです。

新型コロナウイルスをめぐる報道や人々の反応を見ると、そのほとんどが、患者数の増大と日本への感染拡大に対する懸念に終始しており、日本に入って来さえしなければそれでいいのだろうかと思わされます。もちろん公衆衛生上、感染者が出た地域の移動制限や、その地域からの入国制限などは必要な措置でしょう。しかし現在、苦しんでいる患者やその家族、感染の不安が一番さらされている武漢市民の苦しみへの思いが欠けているような気がします。そんな中、武漢市と姉妹都市の大分市がマスクを送り、ネットに感謝の声があふれているということを知りました。自分たちのことを助けたいと思ってくれる、そのことがうれしいし、励まされるのだと思います。

イエスが振り向いてペトロを見つめられました。「あなたのために祈った」とも言われました。それは、自分の身を守るためイエスとの関係を切ろうとするペトロに対し、そのペトロにつながり続けようとしてくださるイエス様の姿です。

私たちも苦しみの中にある人を「私には関係ない」と切るのではなく、つながる者でありたい、今、新型コロナウイルスで苦しんでいる人々のために共に祈る者でありたいと思います。

(2020年2月6日 中学放送礼拝より 聖書科T.M)

3月の行事予定

1	日	
2	月	
3	火	登校日 10:00～
4	水	
5	木	
6	金	
7	土	
8	日	公立大学中期日程入試開始
9	月	
10	火	
11	水	
12	木	国公立大学後期日程入試開始
13	金	
14	土	
15	日	
16	月	
17	火	中1,2登校日 10:00～
18	水	高1,2登校日 高1 10:00～ 高2 14:00～
19	木	中3登校日・卒業礼拝 14:00～
20	金	春分の日
21	土	
22	日	
23	月	
24	火	
25	水	
26	木	
27	金	
28	土	休日
29	日	
30	月	
31	火	

※3月20日以降のスケジュールについては、3月13日を目途に知らせます。

2020年度の主な行事予定

- 4月 7日 (火) 中学入学礼拝
- 8日 (水) 高校入学・始業礼拝
中学始業礼拝
- 4月 9日 (木) 授業開始
- 4月 14日 (火) 学級懇談会
- 5月 9日 (土) 体育大会
- 7月 18日 (土) 終業の日
- 8月 31日 (月) 始業の日
- 9月 10日 (木) 中2チャレンジキャンプ
(～12日 (土))
- 10月 6日 (火) 高2修学旅行
(～9日 (金))
- 7日 (水) 中3研修旅行
(～9日 (金))
- 11月 3日 (火) 文化祭
(4日 (水) 振替休日)
- 12月 18日 (金) 終業の日
- 1月 7日 (木) 始業の日
- 3月 1日 (月) 高校卒業礼拝
- 19日 (金) 終業の日
中学卒業礼拝

